

分野	専門分野Ⅰ —基礎看護学—	対象学年	1
		時期	後期
授業科目	診断・治療に伴う援助技術Ⅱ (呼吸循環・手術療法) Care skills for Diagnosis and Treatment Ⅱ	単位	1
		時間	30
		方法	講義・演習
担当教員	看護師・専任教員 附属病院で8年間の実務経験有		
科目責任者	専任教員		
授業概要	<p>呼吸や循環は人間の生命を司る主要な機能であり、これらの障害は多大な苦痛と死を連想させるような不安を抱きやすい。診療の補助技術は、対象の診療が効果的に行われるための技術であり、確実さが求められる。そのためには、的確な知識が必要であり、原理・原則を想起しながら、確実な診療の補助技術の習得を目指す。また援助にあたっては、常に対象に配慮し思いやりを持って対応する姿勢も学ぶ。</p> <p>本科目では、呼吸・循環を整える技術と手術療法に関する基本的知識を学ぶ。周手術期においても呼吸・循環を整える技術は必須であり、さらに全身の身体侵襲を伴う。麻酔や手術に伴う生体反応を通して、術前・術中・術後の看護を学ぶほか、手術室での看護や看護師の役割も合わせて学ぶ。そして2年次で学ぶ手術に伴う看護技術演習へつなぐ。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 呼吸・循環を整える技術の意義と援助方法を理解する。</li> <li>2. 呼吸・循環を整える基礎的技術を身につける。</li> <li>3. 周手術期における看護を理解する。</li> <li>4. 術前訓練の援助技術を身につける。</li> <li>5. 対象の尊厳に配慮する態度を養う。</li> <li>6. わからないことを自ら考え、調べる姿勢を養う。</li> <li>7. 主体的に取り組む姿勢を養う。</li> </ol>		
評価方法	終講試験 100点 ・呼吸、循環を整える技術 43点    ・手術療法 57点		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学【3】 医学書院 系統看護学講座 別巻Ⅰ 臨床外科看護総論 医学書院		
参考図書	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院		
メッセージ	<p>人間の生命を脅かす呼吸や循環への援助は大変重要です。対象の苦痛を考えながら適切な援助ができるよう、しっかり学んでいきましょう。</p> <p>周手術期にある対象にとって、手術を受けることは生体への侵襲が大きく、生命の危機状況にあります。対象への思いを捉え、生命の危機を守るための観察の視点や周手術期の技術を学んで下さい。</p>		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	I呼吸・循環を整える技術 1.酸素吸入法	酸素吸入療法に関する援助について理解する	呼吸を楽にする技術—酸素吸入療法 目的と適応、酸素の投与方法の種類と特徴、手順・留意点・観察ポイント	講義	
2	2.気道内加湿法	排痰を促す技術について理解する	排痰を促す技術①—気道内加湿法 目的と適応、投与方法の種類と特徴、手順・留意点・観察ポイント	講義	
3	3.酸素吸入法、気道内加湿法の実際	酸素吸入療法、気道内加湿法を実施できる	鼻カニューレ・フェイスマスクを用いた酸素吸入療法 必要物品、中央配管アウトレットへの接続、酸素流量の合わせ方、操作方法 ジェットネブライザーを用いた気道内加湿法 必要物品、吸入中の体位・呼吸の方法 対象に分かりやすい説明や観察	演習	

4	4.気道内吸引	気道内吸引について理解する	排痰を促す技術②—気道内吸引 目的と適応、特徴、吸引の影響、手順・留意点・ 観察ポイント	講義	
5	5.低圧持続吸引、 末梢循環促進 ケア	低圧持続吸引、末梢循環促進ケア について理解する	排痰を促す技術③—低圧持続吸引 末梢循環促進ケア 目的と適応、原理、看護	講義	
6	6.気道内吸引・鼻 口腔内吸引の 実際	気道内吸引・鼻口腔内吸引を実施 できる	吸引モデルを使用した口腔・鼻腔内吸引と気管 内吸引 必要物品、中央配管アウトレットへの接続、 吸引圧の設定、吸引の方法、気管内吸引時の無 菌操作、対象への声かけや観察	演習	
7	Ⅱ手術療法 1.手術療法と 周手術期看護	手術療法と周手術期看護につい て理解する	手術の目的と種類 手術療法とは、周手術期看護とは	講義	
8	2.手術侵襲に対 する生体反応	手術侵襲に対する生体反応につ いて理解す	手術侵襲に対する生体反応 麻酔・手術侵襲に対する生体反応（神経・内分 泌反応）、ムーアの分類	講義	
9	3.麻酔時の看護	麻酔時の看護について理解する	麻酔時の看護 麻酔とは、麻酔の種類と看護	講義	
10	4.術前看護	術前の看護について理解する	術前の看護 術前オリエンテーション、アセスメントに必要な 情報、術前訓練、術前処置	講義	
11	5.術中の看護	術中の看護について理解する	術中の看護 手術室の環境、術中の看護・看護師の役割、 病棟との連携	講義	
12	6.術後の看護	術後（障害期・転換期・回復期） の看護について理解する	術後（障害期・転換期・回復期）の看護 術直後の看護、合併症予防の看護、 早期離床の意義	講義	
13	7.術後社会復帰 への看護	術後（障害期・転換期・回復期） の看護について理解する	術後（障害期・転換期・回復期）の看護、 社会復帰への看護 創傷治癒過程、ドレーン管理、 社会復帰への看護	講義	
14	8.術前訓練	術前訓練を実施できる	術前訓練 （呼吸訓練、トライボール、排痰訓練、含嗽訓 練、起き上がり訓練）	演習	
15			終講試験		